

特集

「ぎく力」を育てる

わたし
ことは

肌で感じたことを
話すだけ 増田明美

デジタル

日常の授業に役立つ
機能やツール

国語
指導

「主体的で深い学び」
って？

書写

字体・字形の理解を
指導に生かす

平成30年度用教科書
訂正箇所

国語教育相談室

小学校

no.

94

光村図書

肌で感じたことを 話すだけ

昨年、NHKの朝の連続テレビ小説「ひよっこ」の語りを担当させていただいた。気合い十分で、とびつきの声でマイクに向かうと、「増田さん、いつも通りをお願いしますよ。どうでもいい小ネタを言う、マラソン中継のようにね」と監督。それから、みね子（主人公）の人生を自然体で伴走した。人生は出会いといわれるが、永六輔さんとお会いできたことは神様からの贈り物。選手生活を終え、間もなくしてラジオのパーソナリティの仕事をした。生放送と聞き、母は猛反対。「明美にあるのは基礎体力だけ。基礎知識をつけてからがいい」と。でも、無口な選手と思われていた私がよくしゃべる、この意外性がウケるのは今しかない。案の定、二回目の放送で結納をケツノウと読み、しばらくして門松をモンマツと読んだ。「大変だあ、お母ちゃん、寝込んでしまったよ」と父から電話があった。

そんな私を、永六輔さんはおもしろいと思ったのか、かわいそうだと思ったのか、番組に招いてくださった。そのとき、私は「どうしたら永さんのように『匂いが伝わる』話し方が出来るのですか？」と素直な気持ちをぶつけた。すると永さん、「僕は会いたい人がいたら、自然と足が向かいます。会って肌で感じたことを話しているだけ」とおっしゃった。それを機に、よく一緒に歩かせていただいた。歩きながら、日本の文化や古典芸能のお話もたくさん。秋、街路樹が色づき、木からホロリホロリと落ちる葉っぱを眺めながら、「自然で美しいですね。人間だって老いていく姿は自然。ボクはそういうふうに老いたいです」とおっしゃった。



1964年千葉県生まれ。高校時代に長距離種目で日本記録を多数樹立。1982年、マラソンで日本最高記録をつくり、1984年ロサンゼルスオリンピックに出場。1992年に引退するまでの13年間に残した記録は、日本最高記録12回、世界最高記録2回更新。現在は、スポーツジャーナリスト、大阪芸術大学教授。執筆活動やマラソンの中継解説のほか多方面で活躍。

CONTENTS

わたしとことば 肌で感じたことを話すだけ 増田明美

特集 02 「きく力」を育てる

インタビュー 相手に寄り添う気持ちをもつ。
それが、「きく」ということ。 阿川佐和子

授業レポート 「きいて、きいて、きいてみよう」(5年) 授業者／青山由紀

授業レポートを読んで 藤森裕治

国語と外国語の
よりよい関係 4 12 小学校英語教育は早期英語教育か 森 篤嗣

デジタル教科書を
効果的に活用しよう 6 14 日常の授業に役立つ機能やツール
— 国語の授業をより充実させるために — 高崎智志

常用漢字の
字体・字形 3 18 指導の場面で、字体・字形の理解をどう生かすか 武田康宏

なるほど国語指導 12 20 「主体的で深い学び」って？ 作・画／あべかよこ
監修／興水かおり

国語 平成30年度用教科書 訂正箇所のお知らせ

特集

「きく力」を育てる

インタビュー 阿川佐和子

相手に寄り添う気持ちをもつ。 それが、「きく」ということ。

インタビューを通して、これまで千三百人以上の本音を引き出してきた阿川佐和子さん。二〇一二年に出版したエッセイ『聞く力』は、百七十万部を超えるベストセラーとなり、現在も多くの人がそのコミュニケーション術を参考にしようとしています。

本誌では、阿川さんに、小学生がインタビューするとき心がけるべき点についておうかがいしました。

苦手だからこそ 分かることがある

——雑誌『週刊文春』でのインタビューの仕事は、二十五年になるそうですね。

必死にやっていますが、もともとインタビューは苦手なんです。いろんな人に会いたいとか、どんどん人脈を広げたいとか、そういう意欲はないんです。好きで好きでたまらないものでお金を稼ぐことができれば幸せだと思いますが、必ずしもそうはいかない。でも、苦手だと思っていたことも、長く続けていれば評価されることはある。「きみがいてくれると…」なんて言わ

れると、やっぱり嬉しいですよ。好きなことをやるためには嫌いなこともやる。それが成長につながるんだと思って、これまでインタビューの仕事が続けられました。

——阿川さんならではのインタビューの特徴はどんなところでしょうか。

以前、雑誌の編集長に、インタビューアとしての不安を漏らしたとき、「阿川さんは阿川さんらしいインタビューでいいんですよ」と言われました。黒柳徹子さんはそれこそインタビューの名手といわれているけども、私とはやり方が違うし、「徹子の部屋」という番組独特の雰囲気があります。

今号は、「きく力」をテーマに、指導方法のほか、きき方のこつ・心構えなどについてご紹介します。

はじめに、『聞く力』の著者・阿川佐和子さんへのインタビュー、次に、五年教科書教材「きいて、きいて、きいてみよう」の授業の様子（授業者 筑波大学附属小学校 青山由紀先生）をお伝えします。そして、藤森裕治先生（信州大学教授）には、授業の分析と、「きく力」を育む際のポイントを教えてください。



阿川佐和子

1953年東京都生まれ。報道番組のキャスターを務めた後に渡米。帰国後、エッセイスト、小説家として活躍。『ああ言えばこう食う』（共著／集英社）で講談社エッセイ賞、『ウメ子』（小学館）で坪田譲治文学賞などを受賞。名インタビューアとしても知られ、週刊文春の対談「阿川佐和子のこの人に会いたい」は、連載1200回を超えた。トーク番組「サワコの朝」は、2011年より現在も放映中。ゲストの意外な側面や魅力を引き出している。

撮影（P3～9）：鈴木俊介



てみると、「実はね…」という新たな話が
きけることもあります。これが、自分なり
のメソッドなのかもしれません。

——インタビューをするときは、どのよう
なことに気をつけていますか。

私は本来、おしゃべりな人間なんです。
だけど、与えられた仕事は、きくという仕
事。そうすると、この人はどうやったら気
持ちよく話せるだろうかと、話し手の気持
ちで考えるようになる。この話題はどうも
苦手そうだなとか、今、おながが空いてい
るのかなとか。それから相手の素振りやう
つむき加減を見て、恥ずかしがっているの
かな、緊張しているのかなとか。どうい
う距離感やテンポが好きなのかも含めて、い
ろんなことを考えています。

話す側も、どういう言葉だったら相手に
伝わるかを考えながら話しているわけで、
ちよつと笑える事件のことを話したのに、
全然笑ってくれないとか、相手の反応を
見ながら話している。だから、きき手はそ
れにはきちんと応える努力をしなければい
けないと思っています。

——細かく反応するように心がけているの
ですね。

「赤」と答える。なぜ赤が好きなのか、で
きるかぎり具体的に、三つ理由を挙げよと。
そうすると、きかれた側はいろいろ考えま
す。赤を着ると元気になるからとか、そう
いえば、うちの玄関は生まれたときから赤
だったとか。そういう具体的な話が出てく
るまできく。

それから、おもしろがつてきくことも大
切だと思います。おもしろいときにはおも
しろいと反応し、驚いたときや疑問に思っ
たときも素直に反応する。話し手の一言、
一言をよくきいて、なるべくその人の動き
や、口元や目を見る。ついつい用意した質
問にとらわれそうになるけれど、興味をも
つ姿勢があれば、その一言、一言の中から
次の質問が見つかると思います。

大きな声を出して 緊張を解く

——なかには、とても恥ずかしがり屋で、

でも気をつけているのは、安易に「分か
ります」って言わないことです。例えば、
スポーツ選手が事故に遭って、「もうこの
スポーツは続けられないと思いました」と
言ったときに、「分かります」なんて軽々
しく言うてはいけません。でも、相
手がどれほど、そのとき苦しい気持ちだっ
たのかギリギリまで想像して相手の気持ち
に寄り添いつつ、そこを丁寧に丁寧に探っ
ていくと、今まで出たことのない言葉が出
てくるかもしれない。分かるはずはないけ
れど、「私もなるべく近くにいくよ」とい
う気持ちになるのが、きくということだ
と思います。

興味をもつ姿勢があれば 次の質問は見つかる

——小学校の教科書に、きくことについて
学習する教材（五年）「きいて、きいて、き
いてみよう」があります。

（紙面を見ながら）今の小学生はこんな
ことをしているのね。プロみたいじゃな
い！自分がこれをやるのは想像できない
けど、もしやるんだったら、いちばん苦手
な役をやってみたいな。最初から苦手だ
と思っているんだから、うまくできなくてあ

思うように話せない子もいると思います。
そんな子へのアドバイスはありますか。

日本人は、大概みんな恥ずかしがり屋な
んです。理由は人によるとありますが、
恥をかきたくないという思いがあるんで
しょうね。それから、大きな声を出した経
験がありません。

昨年、テレビドラマ「陸王」に出演した
際、とにかく大きな声を出せっていうのが、
演出家の私に対する要望でした。連続ドラ
マに出演するのは初めてだったので、上手
な演技なんて意識せず、とりあえず大きな
声を出すことだけを頑張ろうと思ってやっ
ていたんです。そうしたら自分でもびっく
りするくらい大きな声が出ることを発見し
ましたし、なんだか解放されたような気持
ちになりました。だから、インタビューを
する前に大きな声を出してみると、緊張が
解けて、ちよつと気が楽になるかもしれな
いですよ。あとは、にらめつことか、思い
きり笑ってみるとかね。



たりまえ。そこで何か嬉しいことがあると、
倍の喜びになると思うんです。子どもた
ちもきくと同じだと思う。おもしろいもの
や新しいものが見えてくるかもしれないし、
相手の意外な一面を発見するかもしれない。

——小学生の場合、きき手としてどんなこ
とを心がけるといいのでしょうか。

とにかく具体的にきいていくといいと思
います。例えば「野球が好き」という人
には、「なぜ好きなのか」「いつから始めたの
か」「どの瞬間がいちばんうれしかったか」
「最近どんなことで褒められたか」という
ふうにきいていく。「お父さんがやってい
たから野球を始めた」という答えをきいた
ら、「お父さんのプレーでどんなところが
すごいと思いますか」とか、なるべく具体
的に、箱を広げていくような形できいてい
くと、何かが出てくると思います。

よくある心理ゲームで、好きな色を一つ
挙げなさいという質問があつて、例えば、

今の子どもたちは、自己表現のしかたが
多様でうらやましいなと思います。テレビ
などの影響で、小学生でも踊ることが日常
的になっていて、とても上手でしょう。日
本は、昔は、微動だにせず歌うのが凛々し
いことだったけれど、だんだん変わってき
ましたね。インタビューも絶対に座つてや
るものと決めないでもいいのかもしれま
せん。踊りながらインタビューしてみると
か（笑）。

——あまり身構えないことが大事なんです
ね。

そうですね。それからもう一つ。インタ
ビューに限らず、人と話をするときには、
常に逆のことを意識してみてもどうでしょ
うか。つまり、きき手のときは話し手のこ
とを、よく話す人は無口な人のことを。そ
うするとみんなが楽になるし、新しいもの
が必ず見えてきますよ。

常に逆のことを意識すれば、
新しいものが必ず見えてくる。



東京都生まれ。日本国語教育学会常任理事。全国国語授業研究会常任理事。著書に『古典が好きな子』(光村図書)、『子どもを国語好きにする授業アイデア』(学事出版)などがある。光村図書小学校『国語』教科書編集委員。



「きいて、きいて、きいてみよう」は、「きく」という活動に焦点を当てた教材です。用意した質問だけでインタビューを進めるのではなく、相手の話に応じて質問事項を変えたり、きき取った情報に関係づけて再構成したりする力を育むことをねらいとしています。

今回、青山先生は、これらの力をつけるために、「友達の意外な姿・知らなかった一面を発掘する」というテーマを設定しました。子どもたちが生き生きと話したりきいたりする授業の様子をお伝えします。

指導計画(全7時間)

- 1時**
学習の見通しをもつ。
インタビューのしかたの確認、課題づくり。
- 2時**
デジタル教科書のモデル動画を見て、「きき手」のポイントを確認する。
- 3時**
モデル動画を見て、「話し手」「記録者」のポイントを確認する。
インタビューの質問づくり。
- 4時**
それぞれのポイントをふまえたうえで、一つ的话题を掘り下げるインタビューを行う。
- 5～7時**
全員の前で報告する。
「記録者」からの報告、「きき手」「話し手」の感想。

1時
(課題づくり／「きき手」に着目)
きき方に
こつがあるの？

先生 みなさん、となりの席の人のことをどれだけ知っていますか？

授業の冒頭、青山先生は子どもたちにこの問いかけました。子どもたちは一斉にお互いの顔を見て照れ笑い。教室が少しざわめきます。先生は続けて、「こんなことは知っているかな？ 予想してみて」と言っています。次のことを板書しました。

- ・好きなもの
- ・得意なこと
- ・今がんばっていること
- ・しよう来(きた)の夢(なりた)いもの

先生 知りたいときは、今までどうしていたかな？

児童 直接インタビューする。
先生 そうですね。今回は教科書64ページ(※1)のように、「きき手」「話し手」のほか、「記録者」を設けて、三人グループでインタビューを行います。



▲※1 「国語」5年 p64

三人グループをつくり、まずは三分の持ち時間で、役割を決めてインタビューさせてみました。

青山先生はその中から、インタビューがすぐに終わったAグループと、持ち時間をいっぱい使ったBグループに着目しました。そして、子どもたちに問いかけます。

先生 Aグループが終わったときに、Bグループはまだ二つ目の質問でした。この違いはなんだと思う？ Aグループの記録者の人、気がついたことはありませんか。

記録者 話し手が答えたら、すぐに次の質問にいくから、あつという間に終わったんだと思います。

先生 Bグループの記録者の人はどうですか。

記録者 話し手が答えたあとに、それに続いてまた質問をしていました。例えば、「質問」今頑張っていることは何？→「答え」持久力をつける→「質問」なぜ持久力をつけたいのか→「答え」千メートル走の選手になりたいから→「質問」なぜ、千メートル走に出たいのか→「答え」思い出を残したいから」。

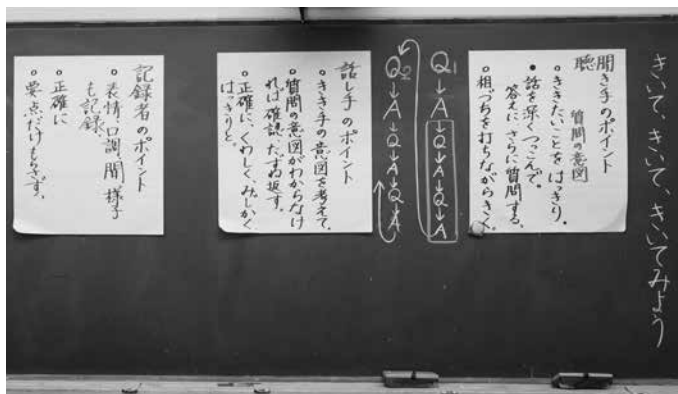
先生 ということは、一つの質問の答えから、また新たな質問をして、答えをどんどん掘り下げていったんですね。

これらのやりとりから、子どもたちは、よりよい「きき手」のイメージを捉えることができたようです。

授業者より

本時は、「きき手」に焦点を当てることがねらいでした。あえて注意点などは伝えずにインタビューを行うことで、AグループとBグループのような違いが生まれました。子どもたち自身が「きき手」について考えるきっかけとなりました。

また、短いインタビュー時間でしたが、友達のことを意外に知らないことにも気がついたようです。これが、次時以降の活動の動機となります。



本時はいよいよインタビューの本番です。前時に用意した質問項目をもとに、五分間の持ち時間で話題を掘り下げていきます。

4時

(二つの話題を掘り下げる)

インタビューを 五分間続けるためには

2・3時

「きき手」「話し手」「記録者」のポイントを確認する)

「記録者」にも こつがあるの？

2・3時は、「国語デジタル教科書」のモデル動画(※2)を活用して、「きき手」「話し手」「記録者」はどんなことに気をつければよいのか全員で考えていきます。動画には、「解説あり」と「解説なし」の二種類があり、今回はまず「解説なし」を使用して、子どもたちにポイントを考えさせます。



▲※2 光村「国語デジタル教科書」(指導者用) 5年「きいて、きいて、きいてみよう」に収録されている動画。

先生 この動画の中には、「きき手」のポイントが四つ示されています。それを探しながら見てみましょう。

動画を視聴後、子どもたちが挙げた「きき手」のポイントは次のようなものでした。
・相手の答えに合わせて、質問の内容や順番を変える。
・一つの話題について詳しくきく。
・相づちをうったり、反応したりする。
・なぜそのような質問をするのか、はっきり分かりやすくする。
・答えを確かめる。

そこで、今度は「解説あり」を視聴し、出された意見と照らし合わせていきます。

先生 「きき手」については、これでしっかりポイントを押さえられましたね。でも、「きき手」だけが気をつけられれば、インタビューはうまくいくのでしょうか。
児童 「話し手」も気をつける必要があると思う。

先生 では今度は、「話し手」に着目した動画を見てみましょう。

このようにして、「話し手」「記録者」のポイントも押さええていきました。次に、イ

各グループのインタビューの様子

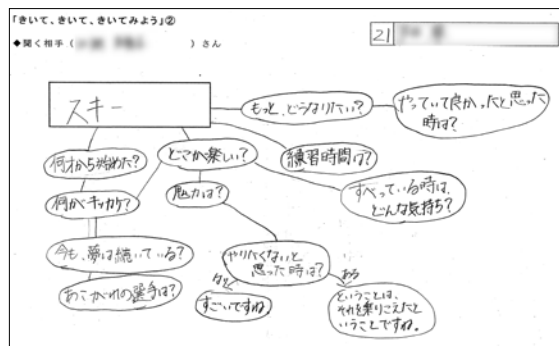
Cグループ

きき手 将来の夢は何ですか。
話し手 税理士です。
きき手 なろうと思ったきっかけは何ですか。
話し手 お父さんが税理士なので。
きき手 いつからなりたいたと思いますか。
話し手 最近、五年生になってから。
きき手 努力していることはありますか。
記録者 ねえ、ちょっと待って。速いよ。追いつけないよ。
話し手 (話すペースを落として) 算数とか、電卓の速たきです。
きき手 電卓の速たきが得意なんですか！
話し手 得意：ではないんですが、よくやっています。
きき手 こつはあるんですか。
話し手 使う指を意識するくらいです。
きき手 お父さんは速いんですか。
話し手 速いです。電卓を二個使っているときもあります。
記録者 ちょっと待って。ああ、僕の字、すごく汚いなあ。でも、あとでまとめるからいいの。か。

授業者より

いつもよりゆっくり話さなければならぬことは、インタビュー前に確認していたことですが、実際にやってみて、ようやくその必然性を感じたようです。記録者は、メモと報告文の違いも意識できているようです。

ンタビューに向けての下準備を行います。1時で示した四つの項目(P7上段参照)のうち、掘り下げることができそうな話題を一つ選び、質問を考えていきます(※3)。



▲※3 「きき手」用のワークシート。一つの話題について掘り下げるための質問を書き込みます。掘り下げ方のヒントとして、1時のBグループの質問のしかたを想起させました。

授業者より

「きき手」「話し手」に比べて、「記録者」のポイントには気づきにくいことが多いので、インタビューの前にしっかりと押さえおきたいところです。
できるだけ子ども自身に気づかせるために、デジタル教科書の動画は、「解説なし」の視聴から始めました。

Dグループ

きき手 なぜダンスが好きになったんですか。
話し手 TWICEというグループが大好きで、そのミュージックビデオを見て、まねして踊っていたら好きになりました。
きき手 いつも誰といっしょに踊っていますか。
話し手 私と同じでTWICEが大好きなIさんと踊っています。
きき手 楽しいのは、どんなときですか。
話し手 Iさんと一緒にダンスをしていて、「そうそう、そういう感じ」って思うとき。
きき手 「共感し合える」ということ？
話し手 そう、共感し合えるとき。
きき手 あなたにとってダンスとは？
話し手 うーん……。難しいなあ……。
記録者 (きき手にそっと) 質問を変えたほうがいいんじゃない？
きき手 じゃあ…、ダンスは自分の生活につながると思えますか？
話し手 生活というか、運動能力の向上につながると思っています。
きき手 えーと、あとは。ああ、まだ二分だ。
記録者 将来の夢をきいてみたらどう？

授業者より

一つの話題を掘り下げるために、持ち時間を使い切るように指導しました。それと同時に、どうしても続かない場合は、記録者がそっと助けてあげてもいいことにしました。記録者は、インタビューを客観的にきいているので、適切なサポートが期待できます。

(全員の前で報告)

5時から、インタビュウの報告をします。記録者からの報告のほか、きき手と話し手の感想も発表します。はじめに、全員の前でいくつかのグループに報告させ、やり方を理解させます。

Eグループの記録者の報告の様子

記録者 Jさんと剣道について報告しました。Jさんは剣道を二年生のときから始めました。きっかけは、挨拶や礼儀の習慣を身につけたいという思いからだったそうです。（中略）剣道で学んだことを生かして、将来は警察官になりたいそうです。夢のために努力し続ける堂々とした姿が、私はすごいと思いました（**記録者用のワークシートは※4参照**）。



先生 どうして「堂々として
いる」と思ったの？

授業レポートを読んで

「きいて、きいて、きいてみよう」という単元名には三つの「きく」が入っています。一つ目はきき手側の「きく」、質問です。二つ目は話し手の「きく」、これは質問に耳を傾けることです。そして三つ目は記録者の「きく」、インタビュウの様子を観察しながら、そのやりとりを整理したり評価したり、ときに軌道修正を促したりして、インタビュウの内容をまとめることです。これら三つの「きく」は、生涯にわたって生きて働くことばの力としてたいへん重要なものです。

青山先生の授業では、子どもたちが自力でインタビュの練習を行い、その出来映えを自分たちで振り返るところから学びが始まります。子どもたちは実際に体験してみても、自分には何ができているか、何が課題かを実感しています。

続いて、デジタル教科書のモデル動画を
使って、きき手・話し手・記録者が気をつ
けるべきポイントを押さえています。子ど
もたちは初めに解説なしの動画を視聴し、
練習で感じた課題を自分のことばにしてい
ます。その際、青山実践のすばらしいとこ

記録者 話している声が力強かつたので。

先生 なるほど。声の出し方に着目したんですね。言葉だけでなく、声の出し方や表情など、いろいろな部分から話を読み取れるといいですね。

授業を終えて

授業後の子どもたちの感想からは、「普段仲よくしていても、意外に知らないことが多かった」「インタビュ―をしたことで、仲よくなれたと思う」といった声や、「話してみたら、自分はこんなことを考えていたのかと、あらためて知った」という気づきもありました。友達の新たな魅力を発見するとともに、自分のよさに気づくことも今回の活動が目ざしていた姿です。

本單元を学年初めに行うと、子どもどうしの円滑なコミュニケーションを促すきっかけにもなります。ここで培ったきく力と人間関係を、これからの学校生活にもぜひ生かしてもらいたいと考えています。

ろは、記録者に重点が置かれている点です。記録者は、インタビュウの様子をただメモするだけでなく、第三者としてインタビュウを観察しながら、適切な介入をする存在です。記録者がモニター役を上手に務めることで、よりよいインタビュウが生まれるのです。

こうして「下ごしらえ」を経て、本番のインタビュが行われます。うまいインタビュができたかどうかが重要ではありません。例えばDグループでは、「あなたにとってダンスとは？」という曖昧な質問が出され、話し手が返答に詰まっています。このとき、記録者が「質問を変えたほうがいい」とささやき、きき手は「ダンスは自分の生活につながると思っていますか？」という質問に言い換えられています。このような経験を重ねながら、よりよいインタビューをするにはどういう点に留意する必要がありますのか分かることが、最も大切な学びとなります。

最後にインタビューの報告が全員の前で行われています。このとき、記録者の報告、きき手の印象、話し手の自己認識との



1960年長野県生まれ。信州大学教育学部教授。専門は国語科教育学(授業研究)、日本民俗学。著書に『授業づくりの知恵60』(明治図書出版)、『すぐれた論理は美しい』(東洋館出版社)など。光村図書小学校・中学校『国語』教科書編集委員。

間には、しばしばずれが生じます。これが話しことばによる情報のやりとりの特徴です。無理にすり合わせる必要はありません。インタビューを通して子どもたちが知るべき最も大切な情報は、相手のプロフィールではないからです。きき手や記録者を務めた自分は、相手をどのような目で見る傾向があるのか、それを知ることがこの学びに埋め込まれた最も大切なポイントなのです。例えばEグループの記録者は、相手の声の調子から印象を得る傾向があるようです。そのことに気づくよう、さりげなく促している青山先生のコメントに、私たち教師が学ぶ点は少なくありません。

信州大学教授

藤森裕治

ワークシートには、「様子」を見取る欄が設けられています。インタビュー活動では、音声言語に着目しがちですが、このような欄があると、話し手の様子もしっかり見るようになります。

▶※4 記録者用のワークシート。インタビュー中は左側にメモ。インタビューが終わったら、右側に報告するための文章を書きます。伝わりやすいように順番を替えるなど、メモを再構成します。

[illegible]

小学校英語教育は 早期英語教育か

いよいよ小学校外国語活動および外国語科の先行実施期間を迎えました。今回は国語科からは少し離れますが、小学生が英語を学習する意義について考えます。



京都外国語大学教授 森 篤嗣
1975年、兵庫県生まれ。国立国語研究所准教授、帝塚山大学教授などを経て、現職。国語科教育だけではなく、外国語としての日本語教育の研究にも従事する。光村図書小学校「国語」教科書編集委員。

英語を早く学び始めることの意味

既に小学校を卒業してしまっている人にとって、外国語活動にせよ外国語科にせよ、小学校から英語教育が始まるということ自体インパクトがあることかと思えます。「英語は中学校から」というのが今までは常識だったわけですが、十年もすれば「英語は小学校から」があたりまえの新人社員が出てくるわけです。まさに「時代は変わる」です。

さて、それはそれとして、これまでの常識を覆して、なぜ小学校から英語を始めることになったのでしょうか。英語の重要性を考慮してということや、国際的に活躍する人材を育成するためにといった答えが出てくるかもしれません。ただ、これらは英語の重要性の

話で、「小学校から」の理由ではありません。となるとこちらは、「早くから英語を学び始めたほうが、英語がよく身につくから」という考えがあるのではないのでしょうか。

はたして英語を早くから学ぶことで、よく身につくのでしょうか。これについては、研究者の間でもさまざまな見解がありますので、代表的なものを紹介していきたいと思います。

言語習得における臨界期仮説

生まれたばかりのカモのひなが、初めて目にした鳥（それが親鳥でなかったとしても）について行くという話を聞いたことはあるでしょうか。これは動物行動学で「刷り込み」とよばれる現象で、生後から一定の期間にだ

ゆるやかに落ちていくという関係にあるだけではないかという仮説もありえるわけです。

臨界期の有無はともかくとして、このように、言語習得と年齢の間には何らかの関係があるということはいえるかもしれません。

学習開始時期か授業時間数か

バトラ―後藤裕子氏の著書『英語学習は早いほど良いのか』（二〇一五年／岩波書店）では、スペインのバルセロナでおこなわれた英語学習の長期調査が紹介されています。この調査では、英語の学習開始時期によって被調査者を八歳、十一歳、十四歳、十八歳の四グループに分け、それぞれのグループが二〇〇時間、四一六時間、七二六時間の英語学習を終えた時点でさまざまなテストを行いました。

その結果、八歳から英語学習を始めたグループよりも、十一歳、十四歳、十八歳から英語学習を始めたグループのほうが、良い成績だと報告されています。言語習得では、学習開始時期が遅いと、認知的な発達が進んでいることを優位に利用できるためだと考えられます。また、学習開始時期が早いと有利だとされている音声関連のテストでも学習開始時期の影響は見られなかったとのこと。音声についても他のテストと同様に、学習開

始時期よりも授業時間数の影響が強いという結果でした。

もちろん、これはあくまで一つの調査におけるテスト結果の話であり、学習開始時期を早めることの意義を全面的に否定するわけではありません。ただ、学習開始時期だけを早めれば、即効果があるというわけではなさそうです。また、他の調査では、早期英語教育の恩恵を受けるには英語による良質かつ大量のインプットが必要であるという報告もあります。これも重要なポイントです。

小学校から英語を始めるということとは

それではここまでの仮説を踏まえて、小学校英語教育は早期英語教育といえるのか改めて検討してみたいと思います。

まず、小学校三年生からという時期は、臨界期と重なります。言語習得における臨界期が存在するのであれば、この時期に始めることには意味があるといえます。ただし、先にも紹介したように、十二歳前後までという臨界期仮説は、研究者によってさまざまな見解があり、現時点では「必ずある」というような科学的根拠が明確に示されているわけでは

ありません。次に学習開始時期と授業時間数の関係です。

け生じるといわれています。この特別な期間のことを「臨界期」と呼びます。

「早くから英語を学び始めたほうが、英語がよく身につく」という説も、実はこの「刷り込み」における臨界期から来ています。言語習得における臨界期を提唱したレネバークによると、思春期の十二歳前後までが臨界期とされています。

ただし、臨界期がこの期間で正しいのか、そもそも言語習得における臨界期があるのかということすら、研究者によって見解が違います。例えば、言語習得に限らず、人間は年齢を重ねるとともに運動能力や認知能力など衰えていくものがあります。ということは、臨界期のような明確な期間があるわけではなく、年齢を重ねると言語習得のための能力が

バルセロナの調査では、学習開始時期を早めただけでは、英語を身につけるのに優位になったという結果は出ませんでした。授業時間数が多くなれば言語習得が進むのは当然ですが、予想していた以上に授業時間数の影響のほうが大きかったというわけです。

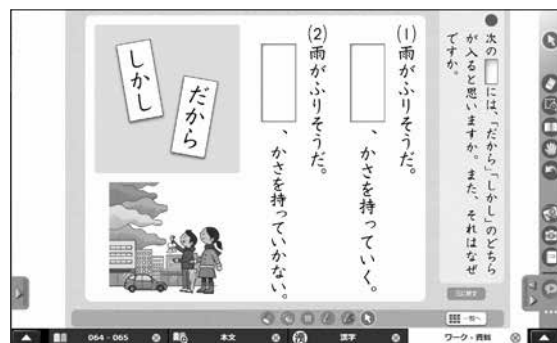
この二つの結果から考えると、小学校から英語教育を始めた「だけ」では、早期英語教育とはいいいくいのではないかという結論になります。なぜなら、これから始まる小学校での外国語活動・外国語科では、授業時間数に限りがありますし、英語によるインプットも限られると思われるからです。

学校教育において小学校から英語を始めることは、これまでの常識を変える大きなインパクトがあります。小学校から英語を始めた「だけ」では、早期英語教育として機能するわけではありませんが、まずは「きっかけ」として大きな一歩になるといえるでしょう。



イラスト：カモ

文章中の-----は、「国語デジタル教科書」に収録されている資料や機能です。

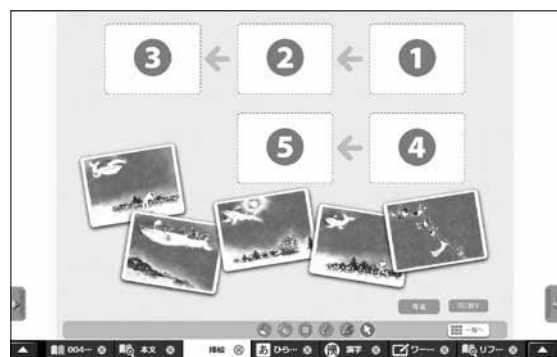


▲※2 「文と文をつなぐ言葉」(4年下)のワーク。画面上のカードを動かしながら、クラス全員で考えていくことができる。

「読むこと」教材、特に物語文については、導入場面において、「朗読」機能や「挿絵並べ替え」機能を活用することによって、物語全体の構造や内容の把握をスムーズに行うことができます。

子どもたちが物語に初めて出会う場面では、教師が範読したり、子どもたちが音読したりすることが多いかもしれません。しかし、デジタル教科書の「朗読」は一流の俳優・声優によるものが多く、その物語のもつ雰囲気や世界観をより感じ取りやすくなります。

さらに、「お手紙」(2年下)や「大造



▲※3 「くじらぐも」(1年下)の挿絵並べ替え画面。挿絵を並べ替えながら、物語の構成を確認していくことができる。

いわゆる言語事項を扱う教材では、豊富な「ワーク」機能が役に立ちます。例えば、「文と文をつなぐ言葉」(4年下)では、教科書に掲載されているものと同じ問題がワークとして用意されているので(※2)、適切なつなぎ言葉を画面上で子どもたちと考えたり、あえて間違ったつなぎ言葉を当てはめてみたりすることで、順接や逆接の意味を、子どもたちの

デジタル教科書の活用場面②
「ワーク」機能で
言葉の力をアップ!

デジタル教科書の活用場面③
「朗読」・「挿絵並べ替え」
機能で効果的な導入を!

言葉で引き出すことが期待できます。

また、教科書の問題だけではなく、類題も用意されているので、練習問題として活用することができます。さらに、教科書の問題や類題は、それぞれPDFファイルで用意されているので、プリントとして配布することができます。プリントを使って自力で解決した後に、デジタル教科書の画面上で正しい答えや言葉の使い方や意味を共有すると効果的です。

低学年の物語文に収録されている「挿絵並べ替え」機能(※3)は、物語の構

デジタル教科書の各教材の中には、「漢字」というタブがあり、選択すると、その教材で学習する「新出漢字一覧」が表示されます。アニメーションでその漢字の筆順を確認したり、「フラッシュカード」機能を使って漢字の学習を楽しんだりすることが出来ます(※1)。

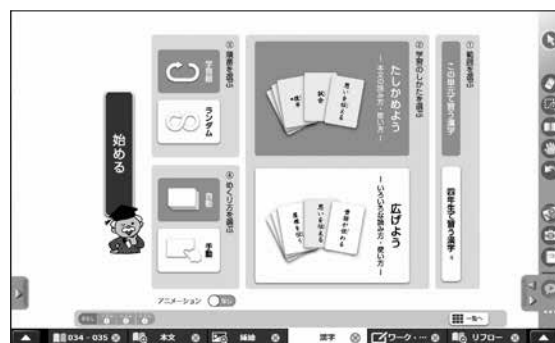
漢字の筆順の確認では、子どもたちに画面を見ながら空書きをさせ、教師は子どもたちの様子をじっくり観察することが出来ます。間違いやすい筆順のところに

デジタル教科書の活用場面①
「フラッシュカード」機能
で漢字学習の定着を!

に印を付け、何画目を予想してから、空書きをする方法もあります。

フラッシュカードは、漢字学習の定着を図るために効果的です。学習する「範囲」や「学習のしかた」、「順番」、「めくり方」、「リズム音」を選ぶと、ゲーム感覚で学習を楽しむことができます。テストの前や学期のまとめの時期に、定着状況を自覚させるのに効果的です。

これらの機能は、漢字学習を苦手とする子どもにとって、視覚的に漢字の形や筆順を捉えたり、繰り返し漢字の読みや使い方を確認したりすることができ、漢字学習に対する意欲を高めます。



▲※1 フラッシュカード機能を使って漢字学習ができる「漢字読みカード」の画面。取り上げる漢字をカスタマイズでき、ゲーム感覚で漢字を定着させていくことができる。

日常の指導に役立つ機能やツール

— 国語の授業をより充実させるために —

これまで五回にわたり、指導者用「国語デジタル教科書」(以下、デジタル教科書)の効果的な活用について連載してきました。最終回の今回は漢字指導など、日常の国語の授業の中での活用方法や、特定の教材だけでなく、汎用的に使えるツールの活用方法についても紹介します。年間を通じて、計画的にデジタル教科書を活用していくことを視野に入れながら、国語の授業の充実を図っていきましょう。



1974年生まれ。広告代理店勤務を経験した後、公立小学校教諭に。横浜市小学校国語研究会を中心に、市内の国語教育推進に取り組む。

造と内容の把握をする際に有効です。場面の様子や登場人物の行動などを考えながら、内容の大体を捉える際に、挿絵を並べ替えながら共有をしていくことができます。

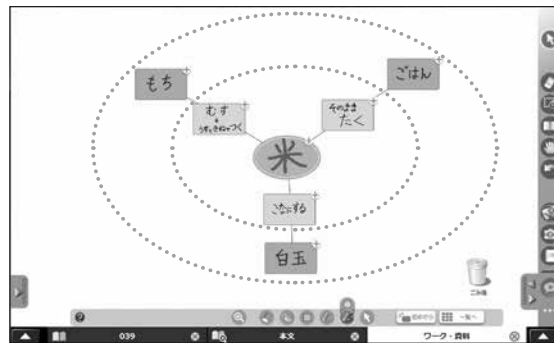
一年では、「ワーク・資料」の中に、「スライドショー」機能や「アニメーション」機能を搭載している教材があります。物語の精査・解釈の段階に至るには、構造や内容の把握が不可欠です。朗読を聞くだけではなく、紙芝居やアニメーションのように、視覚的にも物語の世界を提示することによって、物語を読むことを苦手としている子どもにとっても、全体像が捉えやすくなります。ぜひ効果的に活用していただきたいと思います。

デジタル教科書の活用場面④ 思考ツールを使って、 書く事柄を決める！

「書くこと」の学習では、新聞を書いたり、報告文や意見文などを書いたりする言語活動を行う際、題材の設定や情報の収集、内容の検討、構成の検討などの場面で、「道具箱」にある思考ツールを活用したり、「ワーク」機能を活用したりすることで、子どもたちの思考操作を

支援することができます。

例えば、「食べ物のひみつを教えます」（三年下）では、「すがたをかえる大豆」の学習を生かして、姿を変えて食品になる材料について調べ、例を挙げて説明する文章を書きます。調べた材料、食べる工夫、食品について整理する際、物事の関係を図で整理していきます。そのときに、「道具箱」にある思考ツールを活用します。「道具箱」には、「マップ」※4や「グループカード」などの思考操作を支援する機能があります。子どもたち一人一人が実際に使うのは、プリントした



▲※4 思考ツールの一つ「マップ」。あらかじめ用意された付箋などを使って、思考を視覚化していくことができる。

ワークシートや紙の付箋ですが、個人の思考の過程を全体で共有するときに、これらの機能が役に立ちます。

「食べ物のひみつを教えます」では、「マップ」を使って、関連することを線でつないでいきます。一つのキーワードからアイデアを広げたり、物事の関係を図で整理したりする様子を、全体の場と一緒に確認することで、子どもたちは活動のイメージをもつことができるのです。また、「ワーク」機能※5は、文章の構成を検討するのに役立ちます。自分が調べた「材料」や「食べる工夫」を、



▲※5 「食べ物のひみつを教えます」（3年下）のワーク。文章構成を考えるとときには、「ワーク」を利用すると便利。

文章のどこに書けばよいのか、例を挙げて説明する文章の構成をどうしたらよいかなどについて、例文をもとに、視覚的に捉えることができます。この教材に限らず、「書くこと」の教材には、構成を視覚的に捉え、スムーズに記述へとつなげることを支援するワークが収録されています。

デジタル教科書の活用場面⑤ 動画を効果的に活用し て、モデルを共有！

「話すこと・聞くこと」では、「ワーク・資料」にある、動画がとて役に立ちます。導入場面で、どんな発表や話し合いをするのかなどについて、動画を通して具体的にイメージできることで、子どもたちは単元全体の見通しをもつことができます。

例えば、「学級討論会をしよう」（六年）では、「立場を明確にして主張し合い、考えを広げる討論をしましょう」という学級討論会の動画（※6）が収録されています。これによって実際の討論会の様子を共有することができるとともに、解説の有無を選べるので、子どもたちに示す情報を限定しながら動画を活用するこ



▲※6 「学級討論会をしよう」（6年）に収録された動画。解説の有無を学習状況に応じて選択できる。

デジタル教科書を活用して

デジタル教科書の効果的な活用のしかたについて連載してきましたが、紹介した方法以外にも、まだ多くの活用事例が考えられると思います。デジタル教科書の機能には限りがありますが、目の前の子どもたちに合わせた活用方法は、無数に考えられるのではないのでしょうか。ただ、紹介した活用方法を、そのままそれぞれの教室に取り入れても、同じような効果が得られるとは限りません。子どもたちの言語能力や興味関心に応じて、方法をアレンジする必要があるからです。

また、デジタル教科書を導入したからといって、国語の授業が急に変わるわけではありません。便利なツールをどう使いこなすか、そのためには、子どもたちの実態を分析したうえで、子どもたちにどんな力をつけたいのかを明確にしておく必要があります。そして、子どもたちに必要な手立てを考えていく中で、デジタル教科書の特性を生かした効果的な活用場面を考えていくことが大切です。

デジタル教科書や板書、他の教具など、それぞれの特徴を把握し、それぞれを効果的に使い分けながら、子どもたちにとってよりよい手立てを講じていくことが重要です。授業改善の一つのツールとして活用していくとよいと思います。

3

指導の場面で、字体・字形の理解をどう生かすか

文化庁文化語部国語課 国語調査官

武田康宏

前回は、「字体」と「字形」についての理解を深めました。今回は、実際の指導の場面で、その理解をどのように生かせるかを考えましょう。

「指針」を

柔軟な評価の参考に

まずは、新「小学校学習指導要領解説 国語編」を読んでみましょう。

「常用漢字表」（平成二十二年内閣告示）の「前書き」及び「常用漢字表の字体・字形に関する指針（報告）」（平成二十八年二月二十九日文化審議会国語分科会）においては、以下のような考え方が示されている。・字体は骨組みであるため、ある一つの字体も、実際に書かれて具体的な字形となつてあらわれたときには、その形は一定ではない。同じ文字として認識される範囲で、無数の形状を持ち得ることになる。児童の書く文字を評価する場合には、こうした考え方を参考にして、正しい字体であることを前提とした上で、柔軟に評価することが望ましい。

このように、「常用漢字表」と「常用漢字表の字体・字形に関する指針」を参照する形で、「字体」と「字形」についての考え方が初めて明記されました。書かれた文字が正しい字体を備えていれば、「柔軟に評価することが望ましい」とされているのは以前と同様です。

これまでは、柔軟な評価を心掛けようとしても、よりどころになるものがないという声がありました。「指針」には、常用漢字表の全ての漢字を取り上げた「字形比較表」が掲げられています（資料1）。ここに示された手書き文字の範囲にある字形であれば、その漢字としての字体を備えていると安心して判断できます。評価の際に、ぜひ参考にしてください。

一定の字形に沿った学習や評価も

「解説」は、次のように続きます。

一方、漢字の学習と書写の学習とを考えたとき、文字を書く能力を学習や生活に役立てるために、文字を正しく整えて書くことができるよう、指導の場面や状況に応じて一定の字形を元に学習や評価が行われる場合もある。

例えば、低学年の児童に対して、ここはとめてもはねてもどちらでもいいんだよ、と言ったら、かえって混乱させるでしょう。教科書に示された字形に従って学習するほうが、その漢字の字体を正しくつかむうえで効率的な場合もあります。

ましよう。「指針」は、文化庁ウェブサイトででも御覧いただけます。

説明のできない評価になっていないか

ここで、平成二十七年使用教科書に実際に使われている各社の教科書を御覧いただきましょう（資料2）。検定に合格し実際に使用されている各社の教科書の教科書体にも、よく見ると字形の異なりが見られます。当然ながら、どちらの字形を用いても問題はありません。

連載の第一回で紹介したように、もしここに見られるような微細な字形差にこだわった指導や評価が行われているとし

「標準」は字体の理解への入口

「解説」がいうとおり、「字体」についての考え方を十分理解した上で「教科書の掲げる字形に基づいた指導をすることが、児童の「将来の社会生活において漢字を円滑に運用できる能力」を育てます。

縦画をはねて書いた「木」も本来は誤りではありません。そのことを理解したうえでとめる形を指導するのと、はねたら誤りと思い込んで指導するのでは大きな違いがあるでしょう。「標準」はゴールではなく、書写の観点からすれば、いづれ学ぶであろう多様な字形や書体への一歩ともいえます。字体を理解するための入口が学習指導要領の示す「標準」なのです。

まずは「常用漢字表の字体・字形に関する指針（報告）」を御覧いただき、「字体」と「字形」に関する理解を更に深め

常用漢字表	印刷文字の字形の例					手書き文字の字形の例	
北	北	北	北	北	北	北	など
木	木	木	木	木	木	木	など

▲資料1 「常用漢字表の字体・字形に関する指針」 字形比較表

▲資料2
文化庁では、「指針」を作成する際、小学校教科書で実際に使われている印刷文字の字形を比較した資料を作成しました。「教科書体 字体・字形比較資料」（文化庁国語課／平成27年10月）

右原園才火
右原園才火

1966年、東京都生まれ。文化審議会国語分科会における「常用漢字表の字体・字形に関する指針（報告）」（2016年）、「常用漢字表」改定（2010年）、「異字同訓」の漢字の使い分け例（報告）」（2014年）の取りまとめ等に携わる。





なるほど国語指導「主体的で深い学び」って?

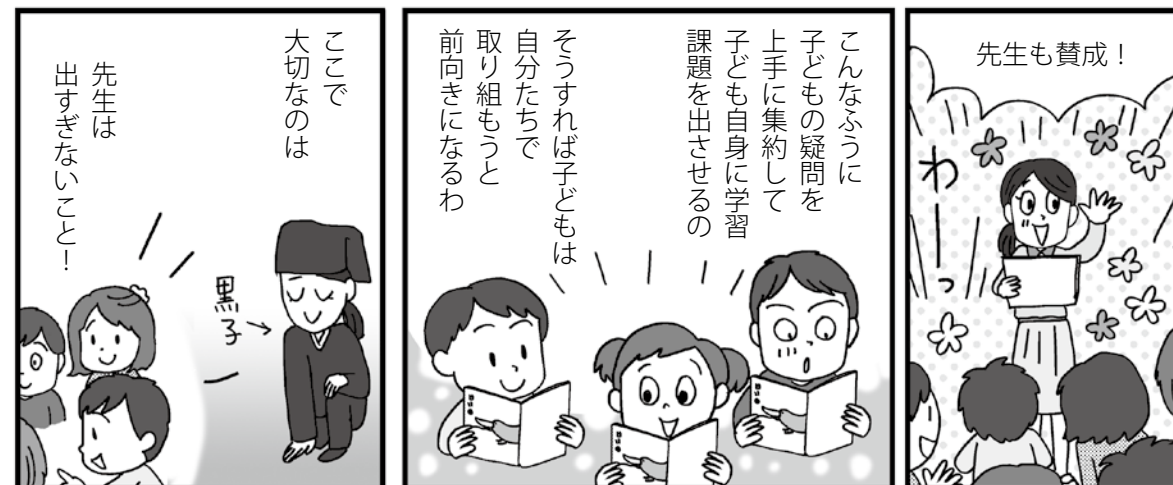
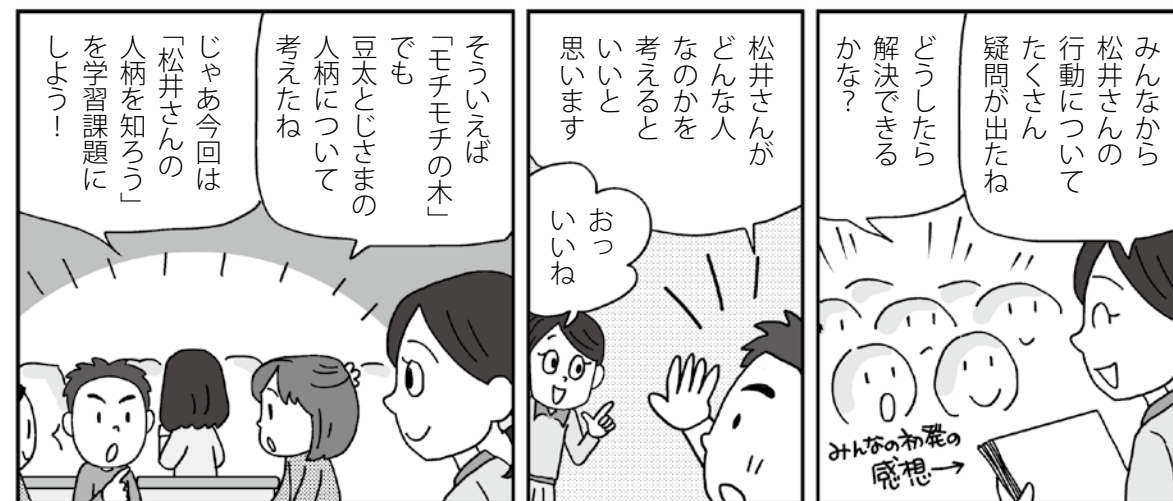
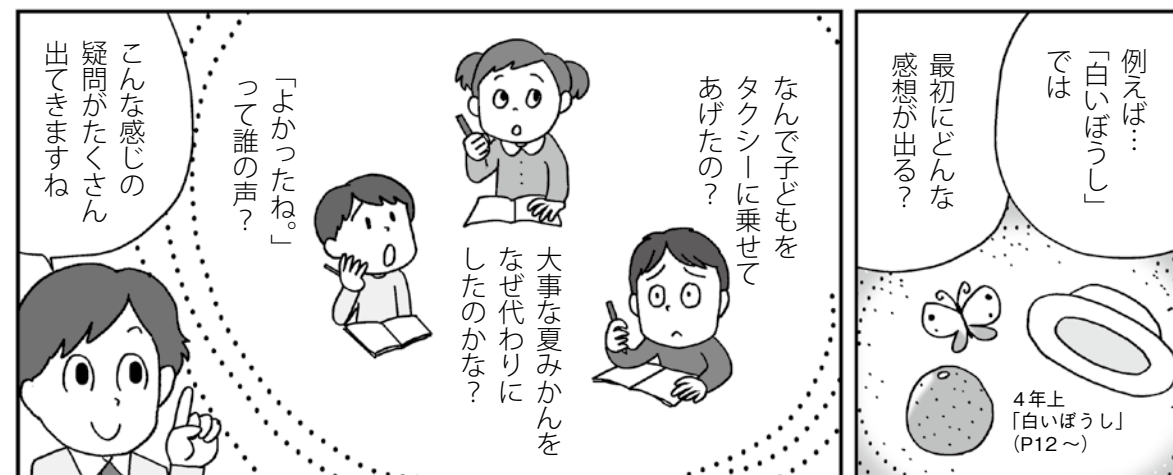
妖精コッシーが教えます 12

作・画/あべかよこ 監修/興水かおり





「主体的・対話的で深い学び」の第一弾。子どもの「なぜ？」「どうして？」「そこが知りたい」が、主体的学びの原動力。初発の感想から子どもたちの思いを生かした課題づくりで授業のスタートを。(コッシー)



2018, いっしょにはじめませんか。
これからの学び。



学びの限らない未来をひらく。
光村図書のデジタル教科書。

体験版(指導者用)はホームページよりダウンロードできます。

www.mitsumura-tosho.co.jp/digital/

指導者用 平成27年度版小学校教科書準拠

光村「国語デジタル教科書」1～6年

2年ライセンス
(DVD付属) 各46,000円＋税
ダウンロード版 各23,000円＋税

光村「書写デジタル教科書」1～6年

DVD版 各21,000円＋税
ダウンロード版 各7,000円＋税

光村「社会デジタル教科書」5年 6年

DVD版 各72,000円＋税
ダウンロード版 各23,000円＋税

光村「せいかつデジタル教科書」上下巻

DVD版 60,000円＋税
ダウンロード版 20,000円＋税

2年ライセンス DVD版 使用期間は、ライセンス発行日より平成32年3月までです。ダウンロード版 使用期間は、平成27年度版教科書使用期間内の1年間です。

※指導者用デジタル教科書は学校フリーライセンスです。学校フリーライセンスとは、校内でご利用になる指導者用パソコンの台数を制限しない契約です。

CoNETS® 光村図書は、CoNETSに参加しています。
www.conets.jp

学習者用 国語デジタル教科書
3～6年



ともに学ぶ授業に

伝え合う力が
身につく授業に

個に応じた授業に

Windowsストアアプリ

各1,500円＋税
／1端末(1年間利用)

国語 平成30年度用教科書 訂正箇所のお知らせ

平成30年度用小学校国語教科書では、平成29年度用教科書から以下の箇所を訂正いたします。校内の先生方でご確認のうえ、ご指導の際には十分ご留意くださいますようお願い申し上げます。

学年	巻	ページ	行など	29年度	30年度
1年	下	88	挿絵		※52円切手の挿絵を、62円切手の挿絵に変更。
3年	上	54	挿絵		※洗濯表示(アイロンのかけかた)を新しいものへ変更。
		59	下段16	◆社会や総合的な学習の時間などで、	◆社会や総合的な学習の時間などで、
6年		158	欄外	大峯(奈良県)、葛城(大阪府と奈良県との境)で修行を終えて。	大峯(奈良県)、葛城(和歌山県と大阪府、奈良県と大阪府の境付近)で修行を終えて。
		180	欄外	空気の中にふくまれている蒸気の割合。	空気の中にふくまれている水蒸気の割合。

児童文学の冒険

飛ぶ教室

年4回(1・4・7・10月25日)発行

最新号

第53号(2018年春)

特集「『好き』の気持ち」

定価：本体1,000円＋税 / ISBN978-4-8138-0045-3

like, love, favorite……。14名が書き下ろす、「好き」の気持ちの物語。

〈表紙〉阿部海太
〈詩〉「好きの後」最果タヒ
〈童話〉「火がこわいしょうぼうしゃ」山崎ナオコ
「りすねえさんのさがしもの」大久保雨咲
〈短編〉「犬のすきなぼくとおじさんとシロ」山本悦子
「インスタントカメラ」濱野京子
「呪いの女・矢内愛」行成薫
「好きって、きつい。」ひこ・田中
〈短歌〉雪舟えま / 服部真里子 × 木下龍也
〈エッセイ〉黒田龍之助 / 朝比奈あすか / 杉江松恋

光村図書出版株式会社

●ご注文は、お近くの書店、または弊社ウェブサイトで
www.mitsumura-tosho.co.jp

[illegible]

好評発売中

きれいに書くには

コ
ツ
がある

●新学習指導要領の学年別配当に対応

- ・常用漢字（2136字）すべて筆順付
 - ・新たに音訓索引を設け、漢字の検索が容易に
 - ・書写教科書と同じ書き文字で掲載
 - ・日常に役立つ、毛筆楷書、硬筆楷書、硬筆行書の3種を提示
 - ・字形のポイント、許容についての図示
- 堅牢で汚れにくく、開きやすい塩ビ製の表紙



新・
字形と筆順
改訂版

宮澤正明 編

四六判/352P

定価 1,800 円 + 税

ISBN978-4-8138-0044-6



光村図書

小学校 国語教育相談室 通巻No.183 2018(平成30)年4月28日発行

發行人=小泉 茂 發行所=光村図書出版株式会社 東京都品川区上大崎 2-19-9 〒141-8675 電話 03-3493-2111

www.mitsumura-tosho.co.jp E-mail:koho@mitsumura-tosho.co.jp 印刷所=協和オフセット印刷株式会社 デザイン=mg-okada

個人情報の取り扱いに関しては、弊社「個人情報保護方針」にのっとり、適切な管理・保護に努めてまいります。

詳しくは、[光村図書ウェブサイト](http://www.mitsubishibooks.com)をご覧ください。広報誌の配送停止をご希望の方は、光村図書出版までご連絡ください。